

発委第3号

発案書

新型コロナウイルス感染症克服へ可児市議会緊急宣言

上記の事件について、別紙のとおり発案する。

令和3年6月4日提出

提出者 可児市議会議会運営委員会
委員長 川上 文浩

可児市議会議長 澤野 伸 様

新型コロナウイルス感染症克服へ可児市議会緊急宣言

市民の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止にご理解とご協力をいただき心より感謝を申し上げます。

現在、感染の脅威は収まるどころか、連日のように新規感染が報告され医療機関の病床使用率はひっ迫しております。特に、10代、20代の若い世代や外国籍市民の感染が急増しており、危機意識の共有を徹底することが重要だと認識しています。本市は多文化共生のまちづくりを推進して参りました。今こそ「オール可児」で一致団結してこの困難を克服しましょう。尚、市内医療機関の皆様にも多大なご協力をいただいていることに、心から感謝とお礼を申し上げます。

市民の皆様には、改めて以下の点を踏まえた行動をお願いします。

- 1 偏見や差別は、その対象となる人々の心身の健康にダメージを与えるだけではありません。差別を恐れて病状を隠したり、感染者が濃厚接触者の追跡調査に協力しなければ、感染を広げてしまったり感染拡大を防ぐ活動の障害になり、感染症の封じ込めを困難にしてしまいます。「オール可児」で、偏見や差別をなくしましょう。
- 2 一人一人の感染予防対策が市内の感染拡大防止につながります。大人数や感染対策が施されていない場所でのマスクなし会食など感染リスクの高い行動を控えましょう。屋外、屋内を問わずマスクの着用、手指消毒、人との距離の確保など基本的な感染予防対策の徹底に今一度取り組んでいきましょう。
- 3 新型コロナウイルス終息に向けた有効な手段がワクチン接種です。本市では、国からのワクチンの供給にあわせ、順次、予約受付、接種を進めています。積極的に接種をしていきましょう。

令和3年6月4日

可児市議会